



一般社団法人
日本航空宇宙学会
The Japan Society for Aeronautical and Space Sciences
第56回関西・中部支部
合同秋期大会
特別講演会

参加
無料

航空機電動化の国際動向と 我が国における取り組み

～ 航空機電動化 (ECLAIR) コンソーシアムの挑戦 ～

講師

渡辺重哉 氏

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
航空技術部門
次世代航空イノベーションハブ ハブ長

11 / 30 土
2019

受付 16:30～17:00

開演 17:00～18:10



事前申し込みは不要です。詳細は合同秋期大会ウェブサイトをご参照ください。

←合同秋期大会ウェブサイト(QRコード)

会場

関西大学千里山キャンパス
第1学舎5号館4階 E401教室

秋期大会情報

ウェブサイト <https://branch.jsass.or.jp/kansai/>

お問い合わせ 一般社団法人日本航空宇宙学会

第56回関西・中部支部合同秋期大会事務局

〒680-8552 鳥取市湖山町南4-101
鳥取大学大学院工学研究科 機械宇宙工学専攻内

E-mail jsass.kansai2019@ml.mech.tottori-u.ac.jp

渡辺重哉

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
航空技術部門次世代航空イノベーションハブハブ長

渡辺重哉先生ご略歴

1985年 東京大学工学部航空学科を卒業後、同大学大学院工学系研究科航空学専門課程にご進学。1987年に修士課程修了後、科学技術庁航空宇宙技術研究所(現JAXA航空宇宙技術研究所)に入所。米国スタンフォード大学機械工学部客員研究員としてご活躍され、2009年にJAXA研究開発本部流体グループ長、2011年に同研究開発本部風洞技術開発センター長、2014年にJAXAチーフエンジニアを経て、2016年より現職。また、本年度日本航空宇宙学会会長に就任。ご専門は空気力学全般、風洞試験計測技術(PIV[粒子画像流速計測法]、PSP[感圧塗料法]等)、EFD(実験流体力学)/CFD(数値流体力学)融合技術、空力抵抗低減技術、航空機の電動化技術など。



航空機電動化の国際動向と我が国における取り組み ～ 航空機電動化(ECLAIR)コンソーシアムの挑戦 ～

航空機の電動化は、大型機ではCO₂排出の抜本的な削減を目指して、「空飛ぶクルマ」に代表される小型機については航空機の利用機会の拡大を目的として、世界的に研究開発、製品開発が急速に進展しており、航空におけるパラダイムシフトの起爆剤として期待されている。日本では、航空機の電動化に必須の要素技術について世界的に優位なものを保有しているものの、それをシステム化して実用化につなげる組織的な取り組みが遅れている。そこで、JAXAを中心として、「航空機電動化(ECLAIR)コンソーシアム」を発足させ、分野/業種横断のAll Japanでの取り組みに着手した。本講演では、航空機電動化の国際動向やその意義、課題について説明した上で、ECLAIRコンソーシアムの目指すもの(将来ビジョン)と現在の活動状況について紹介する。

同時開催

第56回日本航空宇宙学会 関西・中部支部合同秋期大会

本特別講演会は、第56回日本航空宇宙学会関西・中部支部合同秋期大会のプログラムの一つとして開催いたします。秋期大会へも奮ってご参加いただけます様、ご案内いたします。

参加費：会員5000円、非会員7000円、学生会員2000円、学生非会員3000円

懇親会：一般4000円、学生2000円

講演申込締切：2019年10月4日(金)

講演原稿締切：2019年11月1日(金)

申込方法：下記にてお申込み下さい。

<https://www.jsass.jp/egk/kansaicyubu/users/login/>

アクセスマップ

※駐車場はありません。
公共交通機関をご利用ください。
関西大学千里山キャンパス
〒564-8680 吹田市山手町 3-3-35

